

本園の綜合大運動遊具

立長崎市玉その幼稚園設立者兼園長 荒木嘉弘

全國各地に亘り、私が幼稚園並に托児所合計百五十ヶ所の見學をさせて頂きましたのは、早くも満十年前の昭和四年夏より、約半歳の事で、昭和九年一月現在地に移轉する前、昭和五年一月一日、現在地の東北三丁餘の立山町に創立開園し、今日に及んで居ります。

當時、運動場の大小廣狹、形狀も亦種々様々拜見したのであります。が、そちらの園も運動遊具の設備の必要缺く可からざるものであり、事情が許すなら一個でも多數設置したいが、申される所が多くもありましたし、又私もその必要を感じ各地各様の運動遊具の形狀、構成部分の大切さ思はれる箇所を特に留意して參觀し、寸法、用材、經費等に亘り、調査研究をなしたのであります。愈々本園に設備するさなります。仲々容易でありませんでした。創立以來満九ヶ年間、本年一月まで本園にて苦心研究して作製し設備しました種々の運動遊具について、その内、今回は主として屋

外用のものの變遷の過程を記します事は、此度本題の綜合運動具設置に到るの道程として各地、幼兒保育關係諸賢に聊かの御参考になりますれば幸甚の至りです。

昭和五年二月開園當時

敷地八十坪、運動場二十坪

園児數六十名、職員三名

設備一、桿登付乗り臺、一臺

木製、乗りの長さ三米

二、ブランコ

木製、二人乗

自昭和六年四月より至七年三月

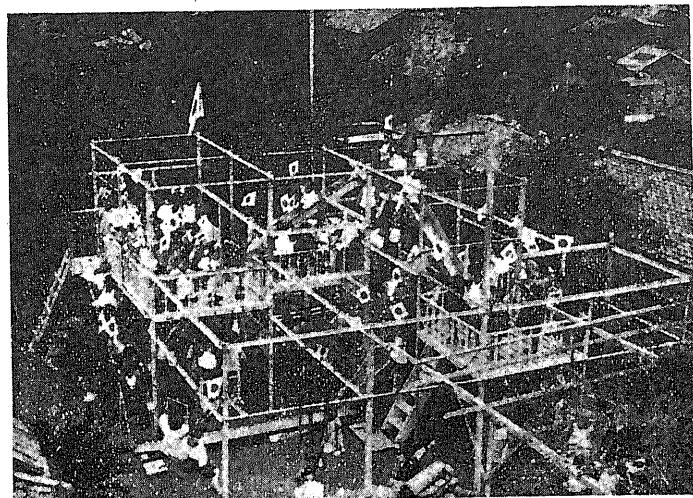
運動場を四十坪に 砂場四坪

一、桿登付乗り臺等前掲の外

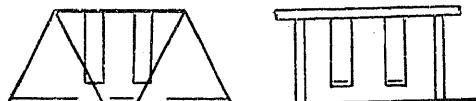
一、ブランコ

二基増設

三、シーサウ



ば一面地し致を廢改築増後のそで在現日八月三は眞寫の此
うやるれば遊接連と内室ゝの履上てめつき敷を利砂玉い
(濟可許部令司塞要崎長)。すまり居てしに



形角三式せ合組互相

型キリト

- 一、右の内プランコ全部鳥居形支柱を探
用したもの、三角形相互組合せ式支
柱に取換へ三基 八人乗さなし
二、飛行機 長さ四米高三米翼長さ三米
幼兒二十人乗りプロペラ回轉し得るもの
の乗降は桟登式によじ登らせるもの一
臺を設備

右の如き様子でありますので廣い駆け
廻る場所が多いのですが、幸ひ僅々幼兒
の團體でも五分間で市立の(諏訪)公園が
東にあり西に數分にして千坪近き丘陵地
の忠靈塔ある運動場がありまして之を利
用して參りました。

自昭和九年一月より至十四年一月

現在地に移轉

敷地三百坪、園舎二百坪、空地約百坪

園児數百二十名職員五名

設備 一、桟登付にり臺前掲同様一基の外

二、ブランコ 四人乘 三基

三、シーサウ 長二米 四基

四、回轉椅子

自昭和七年四月より至昭和九年二月

一基増設

四、遊動木 長四米 一基
五、回轉椅子 四人乘 一基

六、木馬型移動具 二人乘 二基

七、大型箱形ブランコ 二十人乘 長三・五米幅一米 一基

八、船底型十五人乘ブランコ鐵製 一基

之は吊り金具三米の高所にあるため、ゆれ

方大きく愉快なもの

九、椅子ブランコ四人乘 一基

同 二人乘 二基

一〇、飛行機(旅客機型)

長さ五米 高さ三・五米

翼長さ四米 三十人乗り

回轉プロペラ付(之は内部に仕掛けた

把手を年少兒でも容易に廻し得る様に)乗

降も亦不安なく容易である様後部に階段付

一一、砂場十坪

砂場は藤棚を作り全面に被せ一昨年より開花し初め本年

は相當多數開花しました。

右の設備は殆ど私が人手を借りる事を少くしむしろ雇つ

た大工の如きも手不足を手傳はせる程度にて、朝夕の時間
休日等を利用して、その手入れも増改廢工事に當て、殊

に毎年二、三月になりますと木材の部分は改造も簡易な爲取換へを行ひ金具の改造、吊繩の各種類の研究、幼児に使用せしめた上に現はれる缺點の補ひ、極力使用度の低下を防止して來たのであります、維持の上に手數と経費を要したのであります。

本年に入つて、かねて考案を練りつゝも實行に到らずに居ました綜合大運動具を作製設備し、工事終了の上は試用して後缺點不備等も相當に現はれ又、良き考へも浮ぶであらうから更に一ヶ年をその實際的研究期間として、改廢も行ひ明昭和十五年意義深き創立満十ヶ年を迎へる可く一月十五日着工したのでありました。

綜合大運動遊具の構造の概要

機體は地面十六坪・柱の建つた四方の隅より隅への計測
上段七坪：之は枝張にて三坪宛三ヶ所ご廊下となる
部分二ヶ所主柱：鐵材高さ四米屋根なし
梁桁：鐵材

内 容

- 一、江り臺 總鐵製 江りの長さ三米手スリ付上段に二ヶ所、下段に二ヶ所何れも江り板の上部は圍付下方の江り止りの部分も安全停止装置取付取除き自由自在、位置の變更も出來ます。
- 二、大型ブランコ周圍テスリ付二十人乘り良質堅木製

三、ブランコ一人乗り各柄に取付得らるゝ様組立てたの

で十ヶ所

四、椅子付年少児向きブランコ二ヶ所鐵製

五、角型、丸型止り桿 二ヶ所

之はブランコとなり、回轉もします。

六、桟登り一ヶ所面積一坪、高三米上部は鐵製アーチ式

交叉テスリ付

七、階段 よじ登り式二ヶ所、普通板張り階段二ヶ所

八、附屬接續藤棚ミ砂場

地面十三坪の内十坪は砂場、三坪は機體との連接部で此の部分にもブランコを取付けたり外したり使用量も比較的大です。

全面を藤棚ごし鐵丸柱を使用、藤は四ヶ所より、砂場

の上部は勿論、機體の上部全體に被はせる爲そのかづら支へも鐵材を主とし地面よりの高さも三米半ごしました、來年は全面に延び擴がる見込であります。

體位向上報國の國策線に沿ひ屋外にて遊ばせる工夫

罹病率並に死亡率高き就學前幼兒期を、成るべく屋外にて遊ばせ、日光浴と風浴の機會を多からしめたい爲に屋根を用ひてゐません。

炎暑の候等 日光の強烈な直射を避ける様に前に申し

ました藤を四ヶ所より伸し、萬年天幕なし、從來、

布製、竹製、藤製等にて破損腐蝕甚だしい苦い經驗を解消しました。

通風採光

通風と採光に留意し壁は一ヶ所もなく、見透しも採光も充分、空氣は、市の商業街よりもやゝ高所にあるため比較的車馬の往來もなきため清潔であります。

(園醫の證明あり)

使用効力が時間的にも大なる事

1、寸時も活動を停止する事なき幼兒に出来るだけ室内遊びより屋外への誘導に努めその目的に沿ふ様、降雨中は勿論使用しませぬけれど、一度降雨止みますと、數分を出ですして、直に全部使用し得る様排水の方法を講じてゐます。

2、一時に多數遊ばれる事であります、同時に百名以上遊び事が出来、砂場を加ふる時は現在園児百五十名全部同時に各自各遊具に付て遊ぶ事を得ます。

3、上段の活用極めて廣範囲であります。

例1、青天井の下、同時に五十名の園児が晝食辨當も開かれます。

例2、ママゴト遊び、お客様遊び、小型積木遊び等自由であります。

例3、炎暑の候も人工品天幕を用ひずとも極めて涼しく幼児の午睡にも最適でありました。

例4、二人乘椅子ブランコ等設備取除きも出来ます。 構造の變更自由自在

現在組立構成の形狀を例へば東にあるこり臺を西に、北にあるものを南の方へ、中央にあるブランコを東北隅へさいふ接梅に組立ての變更が出來得る様に考慮しました從つて、全然機體全部の位置變更或は幼稚園の移轉等起りまして無疵に解體出来る様、鋸鉄を用ひず全部螺旋釘を用ひ防錆剤を施してゐます。

又主柱も地面接觸部は地下に埋めてコンクリートを行はず、他の動搖防止の方法を工夫研究して施工して居ります。

機體は頑丈に手入れ容易に

幼児の、前後を考へて使用する用具は此の運動遊具に限りませず、意外に破損・磨滅が起りますが、此の度は、丈夫に丈夫にこの考へを念頭に置き、成人の使用にも耐ゆる様大型ブランコの如きは鐵製金具にて補強工事を施しブランコの吊手は又鐵製くさりに致して居ります。

主柱 梁材桁材及びこり臺は全部鐵製でありますから、年二回のペニキ塗り替へを以て防錆法となり、木材部のみ一年乃至二年以内に、腐蝕又は破損で取替へますにも、

主柱が残つて居りますので、工事も簡単に運びませう。一時的に非す、半永久的に使用する爲には、手入注油が困難では使用率も遞減しますので

殊に注油を怠りますと、摩擦の甚だしいブランコ金具の如きも、改造を加へましても、損傷が甚だしいのですから婦女子にても危険を伴はず、容易に注油し得る様組立てました

傷害未然防止のため 細心の注意

負傷は絶対起らせたくないのであります、不慮の災難も未然防止に努め勿論現在の型式を以て満足すべきものではありません、改廢の餘地は多々、起りませうが、各部分共に細心の注意を以て此の工事終了し、七ヶ月の日數にすぎませんが、幸ひ、之云ふ負傷者も出でず喜び居る次第であります。

連接砂場について

屋外遊び中では危険性最も少なく、比較的病弱なる園児にまで喜ばれて遊ばれる砂場も、十坪では左様に多數同時に遊ぶ事が出來ませんのを遺憾に思つて居りましたが、少くとも十坪に二十數名同時に遊ぶのをその二倍以上上の園児が遊ばれる様に平面的のみ使用され勝ちの砂場へ六ヶ所六個六様の砂入れを作製し人數的目的は達しましたが短日月でありますので今後に缺點等も現はれ

改造の要も起りませうが現在は相當喜んで遊ばれて居ります。

砂場に使用の玩具も過去の淺い乍らも経験より半永久的な鐵製を此處數年來使用し來つたのであります、破損なく從來の竹製、木製種々工夫しましたものよりも却つて經濟的にも良い様であります、その形狀はトンネル形鳥形富士山形魚形舟形等で、或時は二三ヶ月も砂中に埋まりつけ發見されぬ場合も木製の如く腐蝕せず、健在であります。

此の綜合運動遊具の使用狀況

工事終了後満七ヶ月此の間園児の使用狀況を記して見ませう。

降雨なき朝、元氣に登園して、帽子や辨當等を夫々置きます。すぐ外に出て先づブランコ（一人乗）に行く者が大多數です。

中には、最も高い所は上段の辻り臺の上部になる檣になる所之より西向き北向きに辻り臺が走つてゐますが、その高い所に立つてお山の大將氣取りで次々に登園する友の名を呼んでは愉快相であります。

四五名集ります、大型箱ブランコに群がります、砂場は常に多數の園児等に親まれてゐます、職員の一人でも上段に上りますや、群り集り園児で職員の行く先きが

講員、超満員です之は皆様の御同様既に常に御經驗あられます幼年心理の動く一風景で御座います。中食時に上段を使用する事を先に記しましたがその時の幼児達の喜びは大變なもので、嫌いだ云ふ者を見当らない様です。

椅子付ブランコは、殆んど休んでゐる間はありません、外の一人乗ブランコも満員が多いのです。

箱ブランコは常に十人位で大波の上の船の如く力の限り、全力を入れて搖つて居る幼児の姿がいゝ頼母しくこんな子供は比較的健康で缺席も少ない者が多い様です。

桿登りはブランコや辻り臺程には使用しませんが、鬼ゴッコでも初まります。全機體の上段三四ツの辻り臺を入れて仲々面白く追ひつ追はれつ致して居ります。

その他の附屬した用具は毎日はつけませず週に二日か三日取つけますがその折りは良く使つて居ります。

階段は普通、板張りのものが安全に見かけますが、幼児は、よじ登り式の建築用ハシゴ式の方を多く使用しますやうです、年少兒の女兒も之を好む傾向があります。一人乗ブランコの地面から腰掛面までの高さを色々三十個共異にして居りますが、初め最低のもので使用してゐる内段々高いものを一般に好みますから最近一學期を終了してゐますので何れも十種以上吊りあげて居ります。

す。

以上を以て、本運動具の概要を記したのであります。が
之は本年夏、倉橋惣三先生が長崎へ保育講習の講師として戸倉はる先生方と御來崎あり御歸京の後、編輯部へ

御詫ありし由で、今日編輯部よりの御依頼をうけましたので、次の點を熟慮の上掲載して戴く事にしたのであります。

一、都會地の人家周密の地で、充分運動場の得難い場所で立體的に面積を利用する事に苦心しました。

二、前に申しました様に、修理手入れと大層手数を要しては、使用量が低下し、引いて、樂しく遊び得る園児を常に失望せしむる事を少くする様に工夫した構成を知つて戴きたいために

三、ブランコ用金具の如き園児或は大人にしても振り動す爲に外れて負傷を誘發する様の事なき様新しい工夫のものを取付け、吊手の材料や形狀、取扱ひには、簡易化と經濟的等考慮し

四、保存方法等も考慮しましたものです。

斯かる考へから拙文乍らも、此の好機會を與へられた事を感謝して、御來園下さつて御覽下さる方に、小生が一々御説明申しあげる時の様に委しく記したのであります。

(四四頁より)

る様な場合にでも「いけません」「よしませう」「おかしいわ」その他いろいろ用ひられておりませうが「いけません」と云ふのはどうしても強くひゞく言葉で空差の場合には餘程注意しないと必ず出る言葉でせう。「よしませう」はそれよりもつこおだやかで命令的な意味は少しも含まれてはゐません。「おかしいわ」はその子供が間違つたことをしてゐるおかしいといふことが自分自身で気がつき、はづかしい早く止めやうといふ様な心持をおこさせることは出来るでせう。正しい言葉づかひと共に、正しい發音ではつきり云ふ事も大そう大事な事でせう。お話をする場合や本を読む場合など特に或程度大きい聲ではつきりきかせる事が必要でせう。

以上まことにつまらぬ事を記しましたが兎に角私達は慎重な心もちで日々あの幼い者に接してまる様に心かけてゆきませう。